

す。

本日、本来でございましたら、森田知事が参りまして、ごあいさつ申し上げるところでございますが、所用のため出席できませんでした。

祝辞を預かってまいりましたので、代読をさせていただきます。

千葉県生涯大学校卒業生学習会に御入会されました皆様、本日は、誠にありがとうございます。

また、貴学習会が本年度創立三十周年の節目の年を迎えられることは、大槻会長をはじめ、役員、関係者の皆様の長きにわたる御尽力の賜物であり、敬意を表します。

さて、貴学習会は、生涯大学校卒業生の皆様が、生涯大学校で培った向学心と御学友との絆を維持、発展させていくために、昭和六十三年に開設されました。

開設以来、時世に応じた生涯学習やクラブ・同好会など、人生を豊かに過ごすための活動を通して、多くの会員の皆様が地域で自らの得意分野を生かして御活躍されているほか、百名を超える八十歳以上の会員の皆様がお元気に参加されていると伺っています。

現在、本県は、全国第二位のスピードで急速に高齢化が進んでおり、平成三十七年には、県人口の約三人に一人が六十五歳以上になると推計されています。

健康で豊かな高齢期を過ごすために、貴学習会の活動は、大変意義深いものと考えています。

本日、お集まりの皆様におかれましては、これまで培って来られた豊かな経験や知識を生かし、ます

ますお元気に活躍されますことを期待しております。県といたしましても、住み慣れた地域で、健康でいきいきと暮らし続けられる体制づくりに、より一層力を入れ、「くらし満足度日本一の千葉県」の実現を目指してまいります。

結びに、千葉県生涯大学校卒業生学習会の今後ますますの御発展と会員並びに関係者の皆様のますますの御健勝と御活躍を祈念申し上げまして、あいさつといたします。



祝辞 千葉県議会副議長 木名瀬 捷司様

ただ今、ご紹介を賜りました千葉県議会副議長の木名瀬でございます。

千葉県生涯大学校卒業生学習会三十周年記念式典、併せて平成二十九年年度千葉県生涯大学校卒業生学習会の開講式が盛大に開会されるにあたり、県議会を代表いたしまして、一言お祝いの言葉を申し上げます。

本日、本学習会に参加される皆様方におかれましては、生涯大学校を卒業後もこうして新たな学習の場を持ち、充実した生活を送られていることとお慶び申し上げます。また、本学習会が創立三十周年を迎えられましたことに対し、深く敬意を表するとともに重ねてお祝い申し上げる次第です。誠にありがとうございます。

現在、人口減少、少子高齢化が進展している中、本県の活力ある未来を築いていくためには、豊かな経験と高い見識を持った皆様がお互いに助け合い、

支えあい、安心して暮らせる地域社会を築いていくことが求められております。このような中、活力ある「千葉県作り」に寄与する本学習会の活動は、ますます重要度が増しており、大槻会長はじめ、歴代の会長様、役員の方々の賜と、多大なるご尽力に対し、改めて深く感謝申し上げます。

県議会といたしましては、真の豊かさを実感できる県民生活の実現ができるよう、地域社会活動の推進に一層の努力をしてまいりる所存です。生涯大学校卒業生学習会におかれましても、記念すべき三十周年を契機として、今後ますます発展され、四十年・五十年の歴史を積み重ねていかれることを、心からお祈り申し上げます。結びにご列席の皆さまの今後のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。本日は、大変おめでとうございます。



祝辞 元衆議院議員・顧問 白井 日出男様

皆さま、こんにちは。

只今ご紹介いただきました白井日出男でございます。千葉県生涯大学校卒業生学習会の創立三十周年の創立記念を心からお祝いを申し上げます。

先程来、会長からもいろいろお話がございましたけれども、皆様方の学習に対する熱意に対し、心から敬意を表させていただきたいと思っております。

私が本会とのご縁を持ちましたのは、皆様方が学習の一環として皇居の参観あるいは国会見学、そう

した行事の時にご紹介したのが、ご縁でございました。また、その後、私が川柳で語る国政というものをやっておりますので、その話をしてほしいとのこと、お話をさせていただいたのが、縁でございました。

振り返ってみますと当時も大勢いらつしやいましたが、それでも三百人とか五百人の会でございますが、今は千五百名を超える会員の皆様方が、お勉強しておられること、誠に素晴らしいことでございます。

私も日本人の平均寿命、先ほど男性も八十歳を超えたとお話がございましたが、むしろ平均寿命よりは健康寿命という統計資料を多く使うようになりました。即ち、健康で生きる体も心も健康で過ごすことが目標である、ということでございます。皆様方におかれましては、今後とも学習会を通じて、多くの知識を身に付け、健康で豊かな人生を歩んでいただければと思う次第でございます。

生涯大学校と学習会とは表裏一体でございます。これからも我々学習会と同時に親会の方もしっかりと歩んでいただければなりません。

そうした意味で、今日は副知事さん、県会の副議長さんもおっしゃいます。是非とも千葉県の生涯大学校の方もしっかりと指導いただけるように私からもお願い申し上げます、ご挨拶いたします。

おめでとうございます。

ありがとうございました。



感謝状贈呈をさせて頂きました 副会長 松村靖

学習会創立三十周年記念式典に於いて記念行事として多年にわたり、会員として学習会へご協力頂きました方々へ感謝状とささやかな記念品を贈呈しお礼をさせて頂くことを企画させて頂きました。

種々、検討させて頂いた結果、対象者を十五年以上の継続会員であり現在も会員であることとしました。学習会事務局が管理しています名簿等により十三名の方を対象者とさせて頂きました。

出来るだけ誤りを防ぐために予定者を公表しその後、ご本人に受けて頂くことの了解を頂き決めさせて頂きました。

感謝状を贈呈しお礼をさせて頂きました会員の氏名を重ねて記載させて頂きます。

板倉好様、白石祐子様、長谷川岩男様、
田中輝顯様、梅津ヨキノ様、秋田民子様、
高橋秀子様、古山陽子様、村上八重子様、
児玉由規子様、佐藤茂様、鈴木達夫様、
松崎彰様

今後とも健康で活躍されますことを祈念してお礼とさせて頂きたく思います。

又、本学習会が今後とも多くの方々の協力により継続して行くことを期待しております。

国会議事堂と皇居・東御苑の参観添乗記

阿天坊 時夫

研修日の三月二十八日は、例年だと桜が満開で、皇居東御苑は入場制限の可能性ありと、対策も考えたが、今年は気温が上がらず、開花が一週間遅れて無用の心配をしました。

当日は天候も良く、定刻に出発し、見学地の国会議事堂へと向かい、車内では恒例の自己紹介で車内は盛り上がりました。

国会議事堂は、昭和十一年に帝国議会議事堂として建設され、当時は日本一の高さを誇り美しい御影石で装われた議事堂は「白亜の殿堂」と称賛されたそうです。議事堂内を門山ひろあき議員秘書の片山哲生様の案内で回り、中央広間（二階）は普段は三階の廊下から見学ですが今回は中央広間に降りて議会政治の基礎を築いた三人の銅像（伊藤博文、大隈重信、板垣退助）を、まじかに見学でき威厳を感じました。弁当は、複数回参加している方から、今年行頂いた片山秘書から、国会議事堂内の道路は、議員さんが分刻みで動いており、車のスピードが速いので注意するように、との話がありました。

予定どおり国会議事堂を後に皇居に移動し、始めに講堂内で四百名位の参観者が一堂に大画面のビデオによる皇居内の説明を受けた後、担当職員の内で見学しました。

私は初めての参観なので、ここに天皇皇后両陛下が、お住まいしていると聞き、心が引き締まる思いでした。皇居東御苑は、皇居造営の一環として皇居東地区の、旧江戸城の本丸・二の丸・三の丸の一部を、宮殿の造営に合わせて皇居のお庭として整備された。石垣の高さは十四びあり、その上に我が国最大の天守閣がそびえていた、明暦三年（1657年）の大火で焼失した後は、再建されずに、石垣が堂々と天守台（石垣の高さは十丈）として残っている。

また三の丸尚蔵館は昭和から平成へと時代が移る

のにもない、平成元年（1986）に皇居から美術・工芸品類六千点余が、平成八年には故秩父宮妃からご遺贈品、平成十三年には香淳皇后のご遺品が、さらに平成十七年に故高松宮妃からご贈答品が国に寄贈され、現在約九千八百点の作品が收藏されているそうです。これらの美術品・工芸品類に関心のあるグループは三の丸尚蔵館に自由行動時に向かいました。東御苑は皇居の庭園として、天皇皇后両陛下のお住まいになって皇居の一角で、豊かな自然や歴史に思いをはせながら、桜の花や梅、バラなど四季の変化やいろいろの花々が見られるように、いろいろの樹木、草花が植えられている。

大手門を入ると、自由行動で、百人番所を過ぎて中雀門跡に來ると、遠くにどっしりとした天守台が見える、この場所に、バラ園、そして桜の島には、桜が三十種類位あるが、残念ながらソメイヨシノは蕾みで、コヒガンザクラ、椿、トサミズキ、カリン、辛夷等が咲き、中でもコシノヒガンザクラは白い花が満開で綺麗でした。この満開の桜の中で東欧からの若いお客さんが盛んにスマホ写真を撮っていたのが印象に残りました。蓮池濠の淵に最近話題になった、富士見多門があり、細長い建物で、ところどころに見張り用の格子戸があり、昔はここで、侵入者などを、見張っていたようです。

帰路の車中で、会員さんに感想を聞くと、多くの会員に、今回の旅行を評価していただきました。

最後に、国会見学の種々の手続き、援助を頂きました門山事務所の皆様に感謝します。有難うございました。



新任理事の紹介

秋山守 研修部

昨年までの二年間京葉学園地域活動学部にも所属。本年、学習会に入会し、理事の任にあたらせて頂くことになりました。お役に立てるよう尽力して参ります。

佐々木みね子 経理部

私の人生常に勉強、今回も好奇心旺盛な私は、理事としての働きを先輩達に学び、迷惑をおかけすることなく、多少でもお役に立てる様に努力したいと思います。ご指導、宜しくお願いします。

前後順子 広報部

学習会講座に参加し、会員出席数の多さに驚きました。また、学習会先輩理事の働きに感服。少しでもお役に立てるよう微力ながら頑張りたいと思います。

角倉邦彦 総務部

「傍（ハタ）が楽」が「働く」の語源と聞いて、定年後のハタラクチを考えました。生涯大学の次は学習会を通して実践です。役に立つ男を目指します。

高野一郎 研修部

先輩理事に指導を頂き、早く仕事内容をマスターして先手、先手と行い新戦力に成りたいと思います。

また、行事、会議等に積極的に取り組みます。

三原修造 総務部

生涯大学京葉学園の四年目です。地域活動の二年目に自治会長をやりました。

現在は陶芸二年目で少し面白みが判ってきたので当分続けるつもりです。

安田敏夫 研修部

今年度学習会の研修部に配属になりました。まだ慣れないことも多く、諸先輩方にお教え頂き務めさせていただきます。

せて頂きたいと思えます。どうぞ宜しくお願い致します。

平成三十年度の学習会について

事務局長 秋元和信

平成三十年度から、学習会は千葉市民会館に移転して行います。

それに伴い学習会の時間割が変更されますので、現時点での予定を、お知らせします。

受付は十時～十時四十五分。

第一講座は十時五十分～十二時三十分まで

お昼休み十二時三十分～十三時五十分。

第二講座は十三時五十分～十五時三十分。

受付要領等は後日、お知らせします。

無料駐車場はありません。（最寄駅はJR東千葉駅です）



麦秋の風を突つきりあさま号

吊橋からつり橋をゆく青嵐 しづこ

ころ置く夕暮の額の花

会員番号 09013 井上宏子



お詫び

創立三十周年記念誌「むつみ」の
十二ページ下から五行目、二十二ページ右上の会員数、
四十ページの H29 欄の計を、1985 名に四十ページ
の H29 欄の男を 1109 に訂正いたします。

